

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和5年12月4日（月）

### 2 確認箇所

海底再被覆工事現場（1－4号機取水路開渠、メガフロート）  
東波除提魚類移動防止網本設化工事現場

### 3 確認項目

港湾魚類対策の状況

### 4 確認結果の概要

東京電力では、港湾内でセシウム濃度の高い魚類が確認されていることから港湾の環境改善として1－4号機取水路開渠の海底土の再被覆工事などを進めるとともに、セシウム濃度の高い魚類の港湾外への移動防止を強化するため、東波除提の魚類移動防止網本設化工事や1－4号機取水路開渠出口の本設魚類移動防止網の網目微細化などを実施している。

今回は前回に引き続き、海底再被覆工事や東波除提魚類移動防止網本設化工事の進捗状況を確認した。なお、1－4号機取水路開渠出口の本設魚類移動防止網の網目微細化は、9月1日に完了している。

（図1）（前回確認：令和5年11月1日）

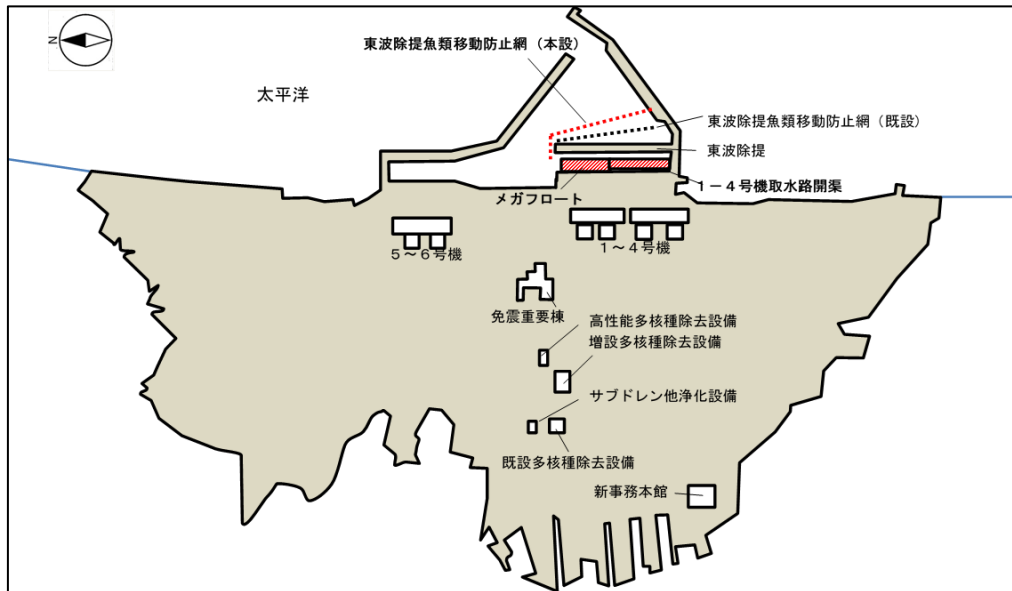
#### ア 1－4号機取水路開渠海底再被覆工事の状況

- ・1－4号機取水路開渠の北側に設置されている仮設プラントにおいて、砂（洗浄・選別済みの山砂）と海水が混合されて、圧送配管によりユニフロート台船に送られていた。混合作業による砂の飛散や圧送配管からの漏れは認められなかった。（写真1）
- ・1－4号機取水路開渠において、ユニフロート台船による覆砂投入作業が行われていた。覆砂はシルトフェンス（5m四方）に囲まれた範囲に投入されており、シルトフェンス外への著しい濁りの拡散は認められなかった。（写真2）
- ・1－4号機取水路開渠の出口付近には、シルトフェンスが2重に設置されていた。（写真3）
- ・東京電力によると、令和6年度上期中の再被覆完了を目指して工事を進めているとのことであった。

#### イ 東波除提魚類移動防止網本設化工事の状況

- ・現地確認時には作業は行われていなかったが、一部の鋼管杭を除いて、高耐久網（ポリエステルモノフィラメント製）を鋼管杭へ設置するための治具（取付ガイド）が設置されていた。（写真4）

- ・また、鋼管杭の一部には、高耐久網の上部を固定するためのステンレスワイヤーが設置されていた。(写真5)
- ・東京電力によると、本設の魚類移動防止網の運用開始時期は、令和6年2月頃になる見通しとのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



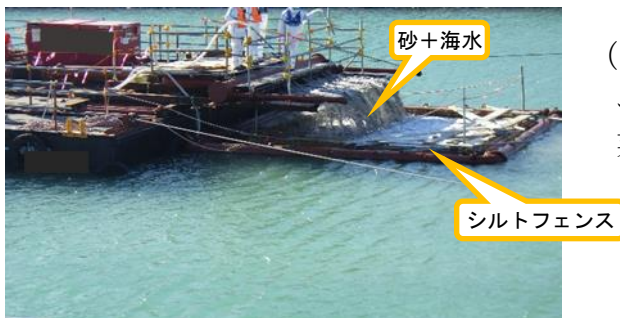
(写真1-1)  
仮設プラントに砂を投入している状況 (南側から撮影)



(写真1-2)  
圧送配管の敷設状況 (北西側から撮影)



(写真2-1)  
ユニフロート台船による覆砂投入作業の状況①（北西側から撮影）



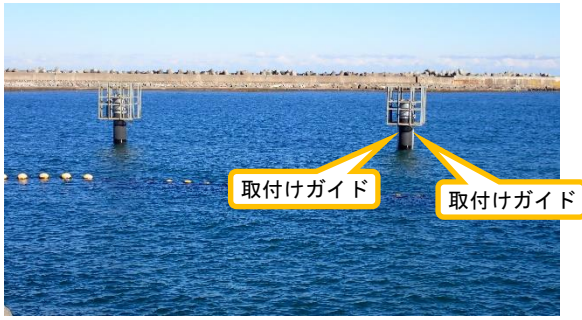
(写真2-2)  
ユニフロート台船による覆砂投入作業の状況②（北東側から撮影）



(写真3)  
1-4号機取水路開渠出口付近のシルトフェンス設置状況  
（北西側から撮影）



(写真4-1)  
東波除提魚類移動防止網本設化工事の概観（北西側から撮影）



(写真4-2)  
 取付けガイドの設置  
 (南西側から撮影)  
 ※写真左側の鋼管杭は取付けガイド未施工



(写真5-1)  
 ステンレスワイヤーの設置状況①  
 (南西側から撮影)



(写真5-2)  
 ステンレスワイヤーの設置状況②  
 (南西側から撮影)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。